

# 「共に生きる力を育てるエイズ学習」その4

中学3年生

## 1 ねらい

- 人を好きになる気持ちが出てくる3年生の時期に、そうした気持ちは自然なものであることを理解し、互いを尊重し合い高め合おうとする気持ちで接することが大切なことが分かる。
- 性感染症（STD）は私たちにとってごく身近な病気であり、どのようにしたら防げるかを理解することができる。また、エイズもその1つであり、その感染経路のほとんどが性行為であることを理解する。
- 男らしさ・女らしさという性別役割観が偏見をうみやすいことに気付き、ジェンダーフリーについての感性を養う。

## 2 指導計画（1年間の単元展開例）

※ 人権教育の視点で扱う題材

時	題材（教科等）	活動内容（人権教育の視点）	評価
1	①男女の自立と共生（ジェンダーフリーとは） （学級活動・家庭科） ※	• 固定的な性別役割観が、人間らしい生き方や選択を偏ったものにしてきていることに気付き、互いを尊重し自分らしく生きていくことが大切なことを理解する。 （自尊感情、ジェンダーフリー） 1年生第2時の発展として扱う。	• ジェンダーフリーの意味を理解し、大切さに気付く。
1	②男子と女子のすてきな関係 （学級活動） ※	• 人を好きになる気持ちは自然なものであり、互いを思いやる心を持って、すてきな関係をつくっていこうとする感性を養う。（性に関するアンケートも実施する：資料177参照） （自尊感情、共生）	• 互いに高め合う関係において、人を好きになることの素晴らしさに気付く。
1	③性感染症（STD）とエイズの予防 （保健体育・学級活動）	• 性感染症とは何かを学び、エイズもその中の1つと言えることを理解する。HIV感染者が増加傾向にあること、そしてその感染経路のほとんどが性行為によるものであることから、感染を予防するにはどうしたらよいかを理解する。	• 性感染症とは何かを理解できる。また、エイズもその1つであることを理解する。
1	④県大会を目指して（佐藤君と中村さん） （道徳）	• 男女が互いの人格を尊重し、健全な異性観を持ち、互いに高め合っていこうとする心情を養う。	• 互いを尊重し合おうとする異性観を持つようとする心情を養う。
1	⑤エイズとこれからの私たちの生き方 （学級活動） ※	• 男女交際の場面を想定し、互いを尊重しながら、思いやる気持ちを持った上で、パートナーとして最善の方法を選択していく実践的態度を育てる。 （共生、態度の育成）	• よりよいパートナーシップをつくっていこうとする意欲を持つ。

### 3 具体的な活動内容

#### A 題材名「エイズとこれからの私たちの生き方」 (5時間中第5時)

#### B ねらい

- 好きな女の子に「一緒にエイズ検査に行って」と言い出された男の子の心情を考えることを通し、エイズを身近なものとしてとらえ、互いのコミュニケーションをしっかり取り合うパートナーシップが大切であり、それがH I Vの感染予防にもつながることを理解する。

#### C 指導上の留意点

- 男女の付き合い方についての内容であるが、ふざけ半分になったり、誰かを冷やかしたりすることのないように、誰もが今後かかわってくる可能性のあることを強調し真剣に取り組ませたい。
- 性交については、エイズ学習においては避けて通れないポイントである。教師自身がまじめに、そして養護教諭とのT T等を通し、爽やかに扱いたい。

#### D 実践記録

時間	児童の活動	指導・支援
つかむ 10'	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本のH I V感染者の増加の様子について確認する。</li> <li>第2時で取ったアンケート結果の実態を確認する。</li> </ul> <p>(資料次ページ参照)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H I V感染者数の資料を提示する。</li> <li>日本の中で性行為による感染者が増加していることを押さえる。</li> <li>「好きな人にセックスを求められたらどうしますか？」のアンケート結果を提示する。 (断る・その時にならないと分からない・避妊具を付ける・してしまうかもしれない、等)</li> </ul>
ふかめる 30'	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">                     好きな人と、どんな付き合い方をすればいいのだろうか？                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1(※1)を読む。</li> <li>時夫さんが怒り出した理由をまとめ発表する。</li> <li>資料2(※2)を読む。</li> <li>時夫さんが最後に謝った理由を考え、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の、エイズ検査について説明する。</li> <li>「なぜ、時夫さんは怒り出したのだろうか」時夫さんの意識にある気持ちを読みとらせたい。 (自分には関係ないという気持ち)</li> <li>「なぜ、時夫さんは、最後に謝ったのだろうか」時夫さんの意識の変化を読みとらせたい。(エイズ検査は、互いに信頼しあいたいという、ゆう子さんの気持ちの表れであったことに気付かせたい)</li> </ul>
まとめる 10'	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの自分の生き方についてまとめ、発表する。</li> <li>互いを尊重し合い、大事にするということの意味を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時で学習したことについて、感想をまとめさせる。(自分はどうしていきたいのか、を中心に書かせたい。)</li> <li>互いに尊重し合い、互いをよく知り合うことが、よりよい男女関係を築き上げることにつながり、本時の資料では、エイズ検査もその1つであったことをとらえさせたい。</li> <li>資料3(※3)を読み、まとめとする。</li> </ul>

※1：P174 ※2：P175 ※3：P175～176

## 参考資料

### ◆アンケート結果（第5時の授業で、扱ったもののみ）

13 現在つき合っている人から、性交（セックス）しようと言われたらどうしますか。

◇3年生： ア する（18%） イ しない（58%） ウ わからない（24%）

◇具体的回答例：

- ・する：好きならしてしまうかもしれない、コンドームをつけてすればよい 等
- ・しない：妊娠したらこまるから、HIV感染が心配、中学生では早すぎる 等
- ・わからない：その時になってみないとわからない、つき合っている人がいないのでわからない 等

## 4 評 価

- ・異性に対しての興味や気持ちが高まってくることの多くなるこの時期に、互いを尊重し思いやる気持ちを持ち、人生のパートナーとして、最善の方法を選択しながら付き合っていきたいという態度を育てることができたか。
- ・エイズは、性感染症の1つでもあり、誰にでも感染する可能性のある病気であることが理解でき、自分を大切に思う気持ちや、相手を大切に思う気持ちが、エイズ感染を予防することにもつながることに気付けたか。

## 5 成果と課題

### 【成果】

- ・性教育にかかわる指導は、やりにくいという実情のあることは否めないが、性についての自認の力、異性への思いやり、今後の生活を大切にしていこうとする意欲を持たせるために、必要であるという自信を持って扱っていくことで、生徒も単なる興味本位のとらえでなく積極的に学ぼうとする態度で取り組むことができた。

### 【課題】

- ・「自分や異性の性的な発達についてきちんと知る」ことで、「自他の成長を肯定的に、大切だと受け取れる」ように指導していきたい。また、エイズ学習を進めることで、「思いやりの気持ちを大切に、同性間・異性間における人権意識を磨き、今後の自分たちの生活に生かしていこう」とする実践的態度を育てることが求められているように思う。
- ・エイズ学習を人権教育の観点で扱っていくとき、単にHIV感染者や患者の方々に対しての偏見・差別を払拭していくことだけを目的に終わらせるのではなく、性教育との有機的な連携の上にならって、自分自身の生き方に寄り添って見つめさせていくことが必要であり、それこそが「共生」につながる方向ではないかと考える。